

ダリアの切り花生産と切り花用品種について

花径20cmを超える中輪（中輪～巨大輪）のダリア切り花生産出荷が本格的に始まり、ようやく十数年が過ぎようとしています。大田花きの宍戸氏の発案で始まった取り組み、切り花としての新たな魅力が発見され、今や切り花界の風雲児、人気の品目であり消費者ご垂涎の的の花となったダリア。切り花生産と品種改良について改めて考えてみた。

先日、秋田国際ダリア園において、秋田国際ダリア園開園25周年記念行事として「ダリア切花生産者フォーラム」が開催（主催：日本ダリア会）され、北は北海道から南は九州・福岡までのダリア生産者100名余りが集い、事例は票による勉強会と産地間の交流が行われた。

まずはじめに、フォーラムに先駆けて、千葉大学大学院教授で農学博士の三吉一光先生より「日本の園芸とダリア」と題し、記念講演をいただきダリアの将来性や利用方法のレクチャーを受けた。

ダリア切花生産者フォーラムは、「ダリアの今後の普及拡大に向けて」と題し行われたが、コーディネーターの宍戸純氏より国内八か所の切り花生産地からそれぞれ1名のパネリストが指名され、また、流通・販売側より2名が加わり、パネルディスカッションが進められた。

- ① 各生産地のダリア切り花の生産出荷の状況
- ② 買い手側から見たダリアの現状
- ③ 各生産地でのダリア切花の鮮度保持、品質管理の取り組みについて
- ④ 切花用品種の構成と切り花専用種の育種について

などが話し合われ、活発な意見が交わされた。とても有意義なものとなった。

さて、平成13年に本格的な大輪系ダリアの生産出荷が始まるが、ダリアの切り花は、水揚げが悪く日持ちに課題があり「売れない花」とのイメージが強い花であった。そこで、故・前日本ダリア会理事長の岩佐吉純氏は、生産者を太田花き市場に集め「日持ちするダリアの開発」と「徹底した切り花の品質管理」を唱え、「ダリアのブームが一過性に終わることなく、長く愛される花になってほしい。」と、生産者へ努力を惜しまないでほしいと強く訴えたのであった。

ここ数年、ダリアはイベントユースから一般ユースへと裾野を広げ、「黒蝶」や「熱唱」、「かまくら」などにみられる原色系の品種から、ピンクやオレンジなどのパステル系や、二色咲きや絞り咲きと言った複色系に品種への広がりを見せており、また、

産地毎に独自の品種を取り扱うなど、出荷される品種も多種多様化してきている。特に、今年は地域ブランドとして秋田県が「NAMAHAGEシリーズ」を発表するなど、新しい動きも見えてきており、フォーラムの中でも、産地において「オリジナル品種を作るべく、育種へチャレンジしてはどうか」との声も上がったほどである。ぜひ、チャレンジして欲しいものです。

「生みの苦しみは計り知れず」

秋田国際ダリア園では、毎年200種以上の新品種を作出しており、中輪種を中心に切り花用品種として生産者に導入されている。生産者の中には、直接新種の改良圃場を訪れては、切り花用品種を探す熱心な方もいられるようだが、毎年、数百と送り出される新顔から、切り花適種を見つけ出すのは至難の業であろう。

長くダリアの関わって来た身として、「日本国内のダリア生産者や愛好家は、なんて、幸運なんだろう」と、最近、強く強く感じている。世界中で一年間に開発されるダリアの新品種の数について詳しくはわからないが、おそらくその80%以上は(いや90%以上かも)、秋田国際ダリア園で発表されていると思われるからである。秋田で次々に作り出される豊富な新品種、その豊富な中から品種選定が出来ることは、他の国ではありえないだろうからである。そう、鷺沢氏は単なる品種改良家・新種作出家ではなく、ダリアの世界ではスーパー(特別)な存在であり、彼の手にはダリアに魔法を掛ける力が備えられているのである。

当方の山形・川西ダリヤ園でも、オリジナル新品種作りを目指し、努力の日々を続けているが、なかなか「きらりと光る」親勝りで、或いは既成観念を打ち破るような、新たな命は生まれてはこない。日々努力を積み上げるほかないと諦めている。

ぜひ、自ら新しい品種を作り出していきたいものである。

ダリアの切り花生産出荷を始める折に、千葉市の小西ダリア園・小西勇作氏と雄和国際ダリア園(現・秋田)の鷺沢氏に、両氏の改良・作出した品種で切り花生産を始めて良いかと問い合わせたところ、「一度は消えかけたダリアに陽が差し、多くの人々に見てもらえる日が来るのであれば『嬉しい』の一言に限る」との言葉と共に、「パテント等の制限は、ダリアの普及を阻害する」と言っていた。なんとありがたいことだろうと思いつつ、これまでダリアの生産拡大を図ってきた。品種改良家の身分や権利を確立・保障すべき流れにあって、現在のダリア界は辛く厳しいものとなっているが、鷺沢氏の「自分が幸せになってどうする」「ダリアが、みんなが幸せになってくれればいいんだ」という言葉に、頭が下がるばかりである。

日本ダリア会 内谷 新悟